

第3回府中市教科用図書採択地区選定委員会 議事録

日 時 令和5年7月19日（水）13：30～17：30

場 所 府中市教育センター第1・第2会議室

出席者 花田三恵委員、矢野康博委員、白石喜子委員、青山俊美委員
榎本直揮委員、河田五月委員、松本直丈委員

【花田会長】

これから、第3回府中市教科用図書採択地区選定委員会を行います。

みなさん、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日も前回と同様、教科書の選定をしていただくわけですが、調査員の説明を聞くことに加え、不明な点は質問をしていただき、それぞれの教科書の特徴について協議していただきたいと思います。どんな些細なことでも構いませんので、お気付きの点等ございましたら、ぜひ全体へ広めてください。全員で、協議を進めてまいりましょう。よろしく願いいたします。

それでは、事務局より事務連絡をお願いします。

【事務局】

まずは、本日配布の資料から確認いたします。レジュメ、（資料2-2）調査報告書、資料（3-2）評価表、前回の議事録です。

前回の議事録につきましては、第3回の議事録と併せて、第4回に確認していただく予定としております。

本日の内容についてです。前回、大変充実した選定委員会を行ってくださり、ありがとうございました。本日ですべての教科用図書の調査報告が終わります。この報告を受け、本選定委員会には、府中市教育委員会に答申をしていただくこととなります。

資料2-2は、今回、調査報告を受ける教科の調査報告書となります。また、資料3-2はその教科の評価表となります。評価の基準は前回お伝えしたとおりです。今回も、前回同様、まず、1と3をご記入いただき、評定2は全てを見直す際に、ご記入いただければと考えております。よろしくをお願いします。

この後、調査員から報告を受けます。本日は、レジュメに示してございます、6つの教科についてです。調査報告は、前回同様、マーカーを入れながらお聞きいただきたいと考えております。

進行についても前回と同様に行い、予定時間内に評定が終わらなかった教科については、16：45からの時間で再度協議を行っていただきます。

府中市の子どもたちが使用する教科用図書の選定が厳粛且つ適正に行われるよう、御協力をお願いいたします。

私からは以上となりますが、この後、理科の教科書に係る調査研究報告を受けますので、理科の教科書をご準備ください。

[理科]

【花田会長】

それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、理科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

特に、第4の観点の視点が最も特徴的でした。写真や絵図が、大きく分かりやすく示され、各領域に必要な理科の見方・考え方で見ることができるようになっています。

第6学年の「月の形と太陽」の単元の学習の84、85ページを例に説明します。この単元は内容区分Bの「地球」となります。この領域において重視されるのは、時間的・空間的な視点で捉えることです。時間帯によって太陽の位置と日によって変化する月の位置と見え方の違いを説明しています。こうした領域区分の主な見方を重視した写真や絵図などによる説明がされています。第3学年の「チョウのかんさつ」、第4学年の「月や星の見え方」、第5学年の「人のたんじょう」、第6学年の「水溶液の性質とはたらき」のところでも同様の特徴が見てとれる例として挙げられます。

続いて、大日本図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

特に、第2の観点の視点が最も特徴的でした。単元のはじめの学習活動によって、その単元の学習内容につながる問題を見付けることができるようになっています。

第6学年の「月と太陽」の単元の学習の94ページ、98ページを例に説明します。問題解決の学習過程において問題を見出すことは、大切な力の1つとされます。朝方と夕方の月の見え方と太陽の位置の様子を比較できるようにする写真を示し、気づきをうながす問いを投げかけて問題を見付けさせようとしています。こうした問題を見出させる工夫は、98ページの「ココに注目」のマークにもあるように単元の学習を通じて問題解決の力を働かせる学習として重視しています。第3学年の「太陽の光」、第4学年の「月や星の位置の変化」、第5学年の「天気の変化」、第6学年の「水よう液の性質」のところでも同様な特徴が見てとれる例として挙げられます。

次に、学校図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

特に、第1の観点の視点が最も特徴的でした。問題解決の方法を明示して、学習を進めることができるようになっていきます。

第6学年の「月の形と太陽」の単元の学習の104ページ、114ページ、119ページを例に説明します。問題解決の学習過程において重視すべき「問題をみつける」「条件をそろえて計画を立てる」「いろいろな見方で考える」など、問題解決の方法を示すマークや説明などの工夫がされています。こうした問題解決の方法を明示しているのは、117ページ、119ページにもあるように、単元の学習を通じて問題解決の方法を意識させる学習を重視しています。第3学年の「光を調べよう」、第4学年の「1日の気温と天気」、第5学年の「雲と天気の変化」、第6学年の「水溶液の性質」のところでも同様な特徴が見てとれる例として挙げられます。

次に、教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

特に、第1の観点の視点が最も特徴的でした。問題を見出す、問題の要因に着目する、学習前後の認識の変容に目を向けさせる学習の進め方になっています。

第6学年の「月の見え方と太陽」の単元の学習の139ページ、146ページ、148ページを例に説明します。問題を見出す際の見方として共通点や異なる点が大切な視点の1つに挙げられますが、同じように細く見える月の朝方と夕方の様子を比較できるようにする写真を示し、気づきをうながす問いを投げかけて問題を見付けさせようとしています。146ページでは、月の見え方に影響を与える要因を確かめる考え方を「考え方のカギ」として示しています。そして、単元の終わりとなる148ページでは、単元のはじまりの学習前の課題意識と学習後の認識に目を向けさせるようにする工夫をしています。こうした問題を見付け、要因を考え、分かるようになった自分に気付かせる学習は、第3学年の「光を調べよう」、第4学年の「天気による気温の変化」、第5学年の「もののとけ方」、第6学年の「水溶液」のところでも同様な特徴が見てとれる例として挙げられます。

最後に、啓林館の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②

特に、第1の観点の視点が最も特徴的でした。実験、観察の際の方法や留意点、予想や考察の視点を写真、絵図、表、矢印、吹き出しなどで丁寧に説明しています。

第6学年の「月と太陽」の単元の学習の116～119ページを例に説明します。実験や観察では、要因に目を向けて予想や方法を考えること。結果を適切に記録すること。結果をもとに自分の考え、結論を導き出すこと。考えを仲間と話し合い対話的、多面的に考えることが大切とされます。116ページでは、要因を明確にした問題と、要因について確かめる予想と方法について考える、問いかけや吹き出しの工夫があります。117ページでは、写真や図の説明、複数の方法の紹介、記録の仕方の工夫の提示を丁寧に示しています。118、119ページでは、実験の結果に関わる情報を視覚的に説明し、個々の捉え方を話し合う様子を示しています。こうした実験・観察を丁寧に進められるようにする工夫は、第3学年の「かげと太陽」、第4学年の「天気と1日の気温」、第5学年の「もののとけ方」、第6学年の「水よう液の性質」のところでも同様な特徴が見てとれる例として挙げられます。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【花田会長】

先ほどの報告にはなかったのですが、効果的なQRコンテンツが用意されている教科書会社はありますか。

【調査員】

QRコードについては、取り入れられている場面は様々ですが、どの教科書会社もたくさん示しています。

【花田会長】

効果の違いはありますか。

【調査員】

単元の最初に示しているものは効果的だと思います。児童が映像でも確認できることは大切なことだと思います。東京書籍は、単元の初めに取り入れています。

【矢野副会長】

6年の「月と太陽」を中心にご説明いただきましたが、「主体的に取り組む」「問題解決の力を育成する」ということを視点に質問します。児童が学びのイメージをもちながら学習するための工夫について、各教科書会社の工夫があれば教えてください。

【調査員】

主体的に学習に取り組ませるためにも、単元の導入で興味・関心をもたせることや生活と関連させることなどが重要だと考えます。

どの教科書会社においてもこだわりをもって導入の工夫がされています。写真の示し方の影響も児童には大きいと思いますが、その視点で見ると東京書籍、大日本図書、学校図書は写真が鮮明であると、調査員の間でも話題になりました。

【青山委員】

理科的な見方・考え方を生かして、普段の生活に生かせそうな教科書はありましたか。

【調査員】

どの教科書会社も、発展的な内容や日常生活に関連する内容のコーナーやページを設けています。県の選定資料を参考にすると、大日本図書が、発展的な内容や環境問題についての内容を多く載せていると記載されていました。しかし、授業をする教師がこういったページをどこまで活用するかは、教師によって差があるかもしれません。

【松本委員】

啓林館の説明の際に、学習過程の記載が丁寧だという印象をもちました。実験の行い方が1つではなく、複数紹介されているのが啓林館の特徴として捉えてよいでしょうか。

【調査員】

そのことについては、啓林館がとても丁寧に感じました。他の教科書会社では、実験器具の使い方を巻末に示していることが多いですが、啓林館は、その実験に必要な器具の説明は、そのページに記載されています。ちょっとした実験のアドバイスも記載されています。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【白石委員】

啓林館の「まとめノート」があるのは使いやすいと感じました。

【矢野副会長】

大日本図書の写真や文字が見やすいですね。

【榎本委員】

3年生を比べると、東京書籍もわかりやすいです。

【花田会長】

東京書籍は教科書が大きいですね。

【榎本委員】

そうですね。ですが、大きいと子供の負担にもなりますかね。

【矢野副会長】

今は、教科書を学校に置いて帰ることもあるので、大きさはそこまで気にしなくてもよいと思います。

【矢野副会長】

身の回りのものにつながっている「コラム」のようなものはいいですね。大日本図書がいいですね。

啓林館は、別冊のノートがありましたか。

【松本委員】

今はないです。

別の実験方法が載っているのはいいですね。啓林館のよいところだと思います。

東京書籍はすごく見やすいという印象があります。

【花田会長】

啓林館の道具の使い方がその單元ごとに出ているというのは、大事なことが押さえられるのでよいですね。

【青山委員】

実験結果のまとめをするときに困ることがあります。そのまとめ方が載っているのが啓林館や東京書籍です。さらに詳しいのが大日本図書ですね。

【河田委員】

大日本図書と東京書籍の写真がきれいですね。特に大日本図書では、3年生の学習で、昆虫と昆虫ではない虫の種類がたくさん掲載されていてわかりやすいです。

【青山委員】

観察の仕方や問題・予想・計画・結果もあって学習の流れがわかりやすいです。大日本図書は振り返りも見やすいですね。

【花田会長】

教育出版についてですが、単元の目標とまとめの示し方がわかりやすいかもしれません。また、学習前の自分の考えと学習後の自分の考えを比較させるような記載があるのはよいところです。

【矢野副会長】

他にも、実験や問題がはっきりと分けられて示されていてわかりやすいです。

【榎本委員】

同じく教育出版ですが、イラストが対話形式で示されていてわかりやすいです。でも、対話形式は他の教科書会社にもありますね。

【花田会長】

昆虫の頭・胸・腹の示し方は、大日本図書の方がわかりやすいですね。

【花田会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

[算数]

【花田会長】

続いて、算数の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、算数科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1 観点の視点は①

第2 観点の視点は②

第3 観点の視点は①

第4 観点の視点は①

第5 観点の視点は①が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2観点の視点でした。具体的には、第2学年、下の44ページに記載されています。「今日の深い学び」としてマイノートを学習に生かすためのまとめ方やノートの工夫が具体的に示されており、児童がどのように考え、問題を解決したのか、思考を振り返ることができるようになっています。また、式や答えだけを書くのではなく、図や表、グラフも活用するように、大切な見方・考え方として考える視点も示されています。

続いて、大日本図書の特徴について報告します。各観点で特徴的な視点の番号は、
第1観点の視点は①
第2観点の視点は②
第3観点の視点は②
第4観点の視点は①
第5観点の視点は①でした。

さらに、大日本図書の教科書で最も特徴的な視点は、第3観点の視点でした。具体的には、第6学年、211ページに「6年間のまとめ」の総復習の中で、「中学への準備」と記載された問題があり、中学校以降の数学の学習で大切になるものを明記しています。その他、241ページからに記載されている「数学の世界へ」は数や図形の学習がさらに詳しくなることに触れ、発展問題として「中学〇年生」と明記されていたり、252ページから記載されている「中学校の数学ではこんなことを学ぶよ」では、小学校の内容と関連させながら、中学校でどんなことを学ぶのかチャレンジ問題に変えて触れたりしています。

続いて、学校図書の特徴について報告します。各観点で特徴的な視点の番号は、
第1観点の視点は②
第2観点の視点は②
第3観点の視点は①
第4観点の視点は①
第5観点の視点は①でした。

さらに、学校図書の教科書で最も特徴的な視点は、第1観点の視点でした。具体的には、第2学年、下の49ページから51ページに記載されています。単元末には「できるようになったこと」として数の概念や計算などの基礎問題、「学びをいかそう」では誤答について考えたり、どのように答えを求めたのかを説明したりする発展問題が設定されています。さらに、「ふりかえろう！」のページでは、その単元で大切な「見方・考え方」を改めて提示し、気を付ける点やきまりを再確認できるよう設定されています。

続いて、教育出版の特徴について報告します。各観点で特徴的な視点の番号は、
第1観点の視点は①
第2観点の視点は②
第3観点の視点は①
第4観点の視点は①
第5観点の視点は②でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的な視点は、第3観点の視点でした。具体的には、第3学年、92ページに記載されています。「表と棒グラフ」の学習を終えた後に、「学んだことを使おう」として、複数の単元・領域のまとめりにレディネス問題や復習問題が設定されています。また、これらは、他教科や学校の活動と関連した題材を用いた練習問題が設定されており、児童の必要感が伴うようになっています。

続いて、啓林館の特徴について報告します。各観点で特徴的な視点の番号は、

第1観点の視点は②

第2観点の視点は②

第3観点の視点は①

第4観点の視点は①

第5観点の視点は①でした。

さらに、啓林館の教科書で最も特徴的な視点は、第3観点の視点でした。具体的には、第4学年、下の52ページに記載されています。新しい演算を学習した後に、学びを生かして適切な演算を決定し、なぜその式になるのか根拠を説明する活用単元「学びをいかそう」が設定されています。また、56ページには学期末に取り組む復習問題、116ページには単元前に行う準備問題と118ページには単元末に行う復習問題が用意されています。復習問題では、間違いやすい問題や発展問題が児童にも分かりやすいよう、印付けや色分けがされています。

最後に、日本文教出版の特徴について報告します。各観点で特徴的な視点の番号は、

第1観点の視点は②

第2観点の視点は②

第3観点の視点は②

第4観点の視点は①

第5観点の視点は①でした。

さらに、日本文教出版の教科書で最も特徴的な視点は、第5観点の視点でした。具体的には、第4学年、下の47ページに記載されています。教科書右側に「どんな問題かな」「考えよう」などと話し合いにつなげる問題解決の過程が「学び方ガイド」として設定されており、それに沿った設問が示されています。また、48ページには複数の考え方が提示されており、それについて算数用語を使って説明し、よい考えやいつでも使える考えが話し合える学習展開になっています。

以上で、算数科の教科用図書調査報告を終わります。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【矢野副会長】

東京書籍でノートの書き方について記載があると説明がありましたが、他の会社にも同様の記載はありますか。

【調査員】

はい。

【花田会長】

日本文教出版の「学び方ガイド」をもう少し詳しく説明してください。

【調査員】

4年生下巻の面積の求め方で説明します。ページ右側に「どんな問題かな」「考えよう」などと「学び方ガイド」が示されています。ここでは、今まで学習してきたこととの相違点に着目させたり、わかっていることを基に分析し、答えを求めたりするなど個人思考を促すようになっています。児童が見通しをもって学習できるようになっています。

【白石委員】

大日本図書について、中学校との関連を説明していただきましたが、他の教科書会社ではどうですか。

【調査員】

他の教科書会社でも中学校に関連する内容の記載はあります。特に大日本図書では、算数から数学に変わっていくことが詳しく説明されています。そこが、他社との大きな違いです。

【松本委員】

そういうページは6年生にしかないのですか。

【調査員】

生活との関連という面での問題設定は、どの教科書でもされています。大日本は、算数から数学への移行という面が強く意識されていると思いました。

【青山委員】

子供たちからいろいろな考えや解き方が出されるように工夫がされているとよいと考えますが、そういったことを促すような教科書はありますか。

【調査委員】

日本文教出版では、面積を求める際、個人思考を促すために複数の考え方を紹介しています。また、その考えを式だけで表すのではなく、どのように考えたのか説明を求めるような問題になっているので、自分以外の見方・考え方に触れられるのではないかと思います。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【矢野副会長】

教育出版は、大単元の最初が、割と日常的な問題として捉えやすい導入となっているものが多いように感じます。

【花田会長】

今からどのような学習が始まるのか、ということの道標になりますね。

【矢野副会長】

日本文教出版には、「見方・考え方」というものが多くのページに出てきますね。こういうものがあると、子供の着眼点となってよいのではないのでしょうか。

【花田会長】

ヒントにもなりますね。

【矢野副会長】

単元末に練習問題はありますか。日本文教出版は「わかっているかな」「たしかめよう」、学校図書は、「できるようになったこと」「学びを生かそう」「ふりかえろう」等、丁寧を示してあります。

【花田会長】

日本文教出版には、「次の学習のために」もあります。

【松本委員】

巻末も特徴があります。大日本図書では、1年間のまとめや「なるほど算数」、数直線のかき方の振り返り等があります。日本文教出版は、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」等があり、「もっとジャンプ」で生活に密着したものが載っていると思います。啓林館は、下学年までに学習したことが載っています。

【白石委員】

5年の「小数のわり算」について比べたら、学校図書は、小数で割ることの意味を問えるような場面を設定しています。比べたいから小数の割り算をするという流れになっているのでよいと思います。大日本図書も同様です。

【花田会長】

それでは、次の教科に移りますので、協議は一旦ここまでとします。報告後の時間で再協議をしたいと思います。

[家庭]

【花田会長】

続いて、家庭科の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、家庭科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、「東京書籍」の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、「東京書籍」の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の②の視点でした。具体的には、学年で学んだことを生かして実践していくことをねらいとしたページが設けられ、4つの視点を働かせることや実践の進め方が示されているところです。また、「夏休みわくわくチャレンジ」として、学習したことを長期休業中に家庭で実践することを促す場面が設けられているところです。P65「生活の課題と実践 生活を変えるチャンス」やP35「夏

休みわくわくチャレンジパート1「手ぬぐいで作る弟の小物入れ等」のところをご覧ください。

続いて、「開隆堂」の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、「開隆堂」の教科書で、最も特徴的なのは、第3の観点の①の視点でした。具体的には、第5学年は、スモールステップで反復学習ができるように基礎・基本の定着を図る題材が設定されており、第6学年は、第5学年で習得した技能を生かす題材が設定されているところです。P5のもくじをご覧ください。第5学年は11題材、第6学年は9題材示されています。

以上で家庭科の教科用図書調査報告を終わります。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【松本委員】

開隆堂で第3の観点の①が特徴的とおっしゃいましたが、もう少し具体的に説明してください。

【調査員】

もくじで説明しますと、全11単元ありますが、同じマークで衣服に関連するところ等を示してあります。同じマークのところは、関連のある学習内容ですので、学年が上がっても繰り返し学習することができるようになっています。

【松本委員】

東京書籍では、同じような単元が3つに対し、開隆堂は5つあるので、繰り返し学ぶことができるということですか。

【調査員】

はい。そういうことです。

【青山委員】

東京書籍の「4つの視点」について詳しく教えてください。

【調査員】

「生活を変えるチャンス」というページをご覧ください。窓が記載されており、どういう視点を働かせるかということについて、「持続可能な社会」等の4つの視点で示してあります。

【矢野副会長】

それぞれQRコードが付いていますが、見方や見やすさに違いはありますか。

【調査員】

そんなに違いはありません。

【河田委員】

4つの視点の中に「持続可能な社会」があり、SDGsと密接に接に関わってきますが、そういった面で、2つの会社の違いや特徴はありますか。

【調査員】

東京書籍は、「持続可能な社会へ」という単元で、4つの窓のところの「持続可能な社会」の視点に大きく色が付いていますが、開隆堂の「持続可能な社会のために」という同じような単元では、「協力」と「持続可能な社会」という2つの視点から捉えて題材が設定されているところが違いだと思いました。

【矢野副会長】

それぞれの教科書の同じ単元で違いがありますか。

【調査委員】

開隆堂の44ページに「ミシンで楽しくソーイング」の製作例がありますが、こちらは大きく見開き2ページに2つの製作例が掲載されています。東京書籍の73ページもミシンに関する単元ですが、製作例としては小さくなっています。次のページには大きく示してありますが、一度に2つ見えるかどうかには違いがあります。

【榎本委員】

東京書籍の76、77ページにも似たようなページがありますね。

【調査員】

はい。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【榎本委員】

ミシンのところですが、東京書籍と開隆堂を比べると、東京書籍は情報が多すぎてごちゃごちゃした印象ですね。

【花田会長】

「ミシンで楽しくソーイング」という単元ですが、初めてミシンを使う場面ですよ。開隆堂はアップになっていて全体がわかりやすいですね。

【矢野副会長】

開隆堂は同じような内容を見開きにまとめているようなイメージがあります。パッと見やすいです。

【河田委員】

説明がていねいなのは東京書籍です。開隆堂は紙面の下地が緑で見やすいです。

【矢野副会長】

トピックス的なものは両方ありますか。東京書籍には、だしの取り方があります。

【松本委員】

開隆堂にもありますね。

【花田会長】

開隆堂にも、「参考」としてだしの取り方が載っています。

【松本委員】

もくじを見ると、単元数が違いますね。5年は開隆堂が11単元。東京書籍は8単元です。開隆堂は細かいので、繰り返し学習できますが、1単元が短いので計画的に実施する必要がありますね。

【花田会長】

開隆堂のもくじを見ると、単元の初めに「なぜ」と投げかけがしてあり、問題解決的だと思います。

【松本委員】

東京書籍は、巻末にプログラミングがありますね。

【花田会長】

開隆堂にもプログラミングがあります。「この学習を中学校につなげよう」というのもあり、中学校への橋渡しのページも掲載されていますね。

【河田委員】

調理の最初の単元を比較したところ、開隆堂は、油が水をどのくらい汚すかといったことが、記載されています。ちょっとしたことですが、「持続可能な社会」につながるものが丁寧に説明されています。洗剤をたっぷり使って洗い流すといったことは教えたくないですね。

【青山委員】

開隆堂はちょっとした豆知識も書いてありますね。

【榎本委員】

「持続可能な社会」については、開隆堂は5年と6年で2回扱っています。東書は5年で1回となっています。開隆堂の方が充実しているのかなど。リユース、リデュースの説明もわかりやすいです。

【松本委員】

振り返りの点ですが、開隆堂は、技能的なポイントは「チェックポイント」があり、「学習を振り返ろう」で学習のめあての四角にチェックを入れるようになっています。東京書籍は、ステップ1、2があるので、それぞれのステップごとにめあてを振り返ることができるようになっています。技能的な面のチェックもあります。学習過程に沿った形で東京書籍は振り返りが行えるようになっていっているように感じます。

【矢野副会長】

豆知識や英語の表記は両者ありますね。盛りだくさんの情報です。

【花田会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。
では、ここで休憩をとります。15：20に再開します。

(休憩)

[図画工作]

【花田会長】

続いて、図画工作の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、図画工作科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

まずは、開隆堂の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、開隆堂の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点①でした。具体的には、全ての題材で二次元コードを読み取れば、単元の導入を動画で視聴できるようになっています。その題材のつくり方をキャラクターが説明し、最後に学習のめあてを画面に表記することで、何をするのが視覚的に理解しやすく、児童自身が作品をつくってみたいという意欲がもてるような構成になっています。また、その題材で使う用具の使い方の動画も見ることができ、児童の作品づくりに大変参考になります。動画には、単元導入・用具の使い方・作品のつくり方に加え、作品例・作品カード・ふりかえりシートもあり、必要なものを適宜視聴することができることもよく工夫がされていました。

続いて、日本文教出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点①でした。具体的には、コミュニケーションや言語活動を重視した題材や共同で行うことを意図した題材が多く設定されています。また、適宜話し合いの観点も提示されており、言語活動が充実するような構成になっています。各上巻に掲載された特設ページには、作品を見て感じたことや考えたことを友達と話し合う活動が示されており、言語によって作品の見方が広がる工夫がなされています。

コミュニケーションの観点で言えば、鑑賞がほとんどの題材の後に付いていました。鑑賞のポイントも示されており、作品の表現と鑑賞の一体化という意味ではよいと思いました。

開隆堂の説明に戻りますが、動画がとてもよくできており、子供が興味をもつようになっています。用具の説明の仕方もよくわかります。

以上で、図画工作科の教科用図書の調査報告を終わります。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【矢野副会長】

日本文教出版の言語活動を重視した題材の具体を教えてください。

【調査員】

例として第1・2学年上の56ページをご覧ください。「友達の作品を見て話そう」というものがありますが、このように言語活動するとよいということが記載されています。子供が活動しやすいと思います。ただ、鑑賞するだけでなく、一緒に遊びながらお互いのよさを伝え合えばよい等と示してあります。

【松本委員】

開隆堂の第2の観点についてですが、「動画を見られる」とあります。日本文教出版にも同様の記載がありますが、より丁寧なのが開隆堂ということでしょうか。

【調査員】

子供たちの興味を引くのが開隆堂だと思いました。用具の使い方の説明もわかりやすいのではないかと思います。

【松本委員】

示されている内容は同じですか。

【調査員】

内容は同じです。

めあてについてですが、開隆堂は3つの視点で書いてあります。また、中心となるめあてには色が付いています。日本文教出版は、さらに細かく、5つに分けて書かれています。細かく書かれているのは日本文教出版ですが、見た目として子供にわかりやすいのは開隆堂です。

【矢野副会長】

題材や作品の例示の違いはありますか。

【調査員】

そこまで大きな違いはありません。どちらも吹き出しがあって、子供たちに話しかけるような表記もあります。

【花田会長】

日本文教出版は他教科との関連が書かれていますが、開隆堂にもありますか。

【調査員】

表記が違いますが、「合わせて学ぼう」というものがあり、他教科との関連を示しています。日本文教出版の方が、パッと見てわかる表記がしてありました。

【青山委員】

日本文教出版には、鑑賞シートがあるとのことでしたが、開隆堂にも振り返りシートがありますか。

【調査委員】

両方とも付いています。日本文教出版は、教科書を見るとすぐにシートがわかりますが、開隆堂は、QRコードを読み取ると使用できるようになっています。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございます。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【青山委員】

開隆堂と日本文教出版で見比べたところ、開隆堂は見出しがかわいいですね。イラストも活用されています。日本文教出版はかっちりとしていて字が小さい印象です。道具についても開隆堂はより丁寧に書いてあります。

【河田委員】

開隆堂はタイトルが変わっていますね。「図画工作」だけではないのでおもしろいですね。

【青山委員】

もくじを見比べると、開隆堂は1つの単元で行うことが絞ってある気がします。

【河田委員】

やることははっきりわかっていると評価しやすいです。図工で困るのは評価です。若い先生でもこれだったらわかりやすいのではないのでしょうか。

【花田会長】

学習のめあては、開隆堂がわかりやすいですね。

【矢野副会長】

高学年の単元では、開隆堂は技法が載っていてわかりやすいです。日本文教出版はそこまで書かれていません。

【花田会長】

低学年で比べた時、子供の活動に関わる吹き出しがわかりやすいのは日本文教出版かな。

【矢野副会長】

吹き出しは日本文教出版の方が多い気がします。

【青山委員】

日本文教出版のQRコードを読み込んでみましたが、作品例が40個掲載されていました。

【榎本委員】

QRコードを読み取ると、道具の使い方等、日本文教出版の方が詳しいですね。開隆堂は全部をまとめた動画ですね。調査員の報告では、開隆堂の特徴として挙がっていましたが、日本文教出版の方が充実していると思います。

【松本委員】

目標から考えさせたり、広げさせたりする呼びかけは日本文教出版の方が充実しています。開隆堂は指示のような表現になっています。吹き出しは日本文教出版が充実しています。

【花田会長】

それでは、時間が来ましたので、後ほど評価表にご記入ください。

[生活]

【花田会長】

続いて、生活の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、生活科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。具体的には、保護者とともに学ぶことができる記述があることと、「やくそく」コーナーを設け、活動で必要なきまりや安全について知らせているというところでした。

続いて、大日本書籍の特徴についてです。

第1の観点は視点④

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、大日本書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。スタートカリキュラムを意識し、幼稚園や保育所、こども園と生活を比較するページがあるというところでした。

続いて、学校図書の特徴についてです。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、学校図書の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、ワークシートに書いた気持ちを表現する場面や素材との対話の場面が設定されているというところでした。

続いて、教育出版の特徴についてです。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。具体的には、植物などの成長が比較しやすいように年間の様子が掲載されているというところでした。

続いて、光村図書の特徴についてです。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、写真や小見出しの言葉を効果的に配置し、導入・展開・振り返りまでを児童の思考に沿って示してあるというところでした。

最後に、啓林館の特徴についてです。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、啓林館の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。他教科で学んだことを活かしながら、表現活動や振り返りに取り組めるように設定されているというところでした。

以上で、生活科の教科用図書の調査報告を終わります。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【河田委員】

「スタートカリキュラム」という言葉が2社しか出てきませんでした。この2社の特徴を教えてください。

【調査員】

東京書籍は、「〇〇はじめまして」のように、具体的な「はじめまして」が設定されているところです。大日本図書では、まんが等で具体的に示してあるので、より明確に児童の中に溶け込むのではないかと思います。

【青山委員】

東京書籍は、保護者と一緒に振り返りができるとありますが、詳しく教えてください。

【調査員】

「保護者の皆様へ」で、保護者に向けたコメントが書いてあります。「やくそく」では、

気を付ければよいことについてイラストで示してあるため、教科書を持って帰った時、保護者と確認できれば効果的だと思います。

【松本委員】

学校図書で、ワークシートについて特徴があると説明がありましたが、具体があれば教えてください。

【調査員】

例として、「発見カード」のところをご覧ください。ワークシートの横に女の子や男の子の絵と吹き出しで、こういう風にはければよいということが示されています。ワークシートに考えを表出できない児童の助けとなります。こういったワークシートがたくさん出てきますが、学習が進むにつれて文章を書く行が増えていきます。このように視覚的イメージとして、学習の見通しをもって学習をすることができるようになっていきます。

【松本委員】

報告書の「素材との対話」というのは、男の子のコメントのことですか。

【調査員】

そうです。イラスト等の部分です。

【松本委員】

光村図書の報告で、「導入、展開、振り返りまでが児童の思考に沿って示されている」とありましたが、具体的に教えてください。

【調査員】

上巻の69ページをご覧ください。「どうしてだろう」「なんでだろう」がマンガで描いてあり、導入から展開につなげることができるようになっていきます。

【河田委員】

第1の観点の②に「自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫」があります。人との関わりは書いてあると思いますが、自然との関わりをもつための工夫は、どこか特徴があるのでしょうか。

【調査員】

自然とのかかわりで言うと、教育出版の上巻の「野原のカレンダー」が特徴的です。1年間を視覚的に示しているため、身近にないものについても、この資料から関わりをもつことが可能であると考えます。

【松本委員】

教育出版の第3の観点に、下巻では中学年への接続についての記載があるとなっていますが、具体があれば教えてください。

【調査員】

下巻については大きな差はありませんでしたが、学校図書は上巻から下巻にかけて効果的に書かれている部分がありました。啓林館も、上巻の段階から他教科につながる内容の記載がありました。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいい

ですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【矢野副会長】

教育出版の各単元の頭に「わくわくスイッチ」があり、おもしろいと思いました。児童が自分で学ぶための視点ともなるのではないのでしょうか。左上の「気付く」等は、指導者側の参考にもなります。

【松本委員】

教育出版の上巻の40ページを見ると、年間の学習を児童、先生とも見通せるようになっています。

【花田会長】

啓林館の上巻、18ページにも同じような記載があります。「びっくり図鑑ライブ」もあります。見てみたくなりますね。

【松本委員】

東京書籍の説明のところで、「保護者の皆様へ」とありましたが、他の教科書会社でも同様の記載が見られますね。

【青山委員】

光村図書は、後ろに別冊が付いています。

【河田委員】

教育出版の下巻52と74ページを見てください。同じ場面が絵にしてあって、夏と秋に分かれています。よく見ると違っていておもしろいです。構成がおもしろく、細かく見るといっぱい違うところがあります。いろいろなところから季節を感じられます。

【榎本委員】

教育出版の「発見ロード」をずっと見ていくと、なんとなく学習の流れがわかっていくようになっていきますね。

【青山委員】

大日本図書の上巻3ページに気持ちのマークがあります。各単元の最後に振り返りがあり、今の気持ちを簡単に振り返ることができるようになっています。

【花田会長】

教育出版では、梯子を登るイラストのところに、「自分探検ができたかな」があり、簡単に振り返りができるようになっています。

【花田会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

[社会・地図]

【花田会長】

続いて、社会・地図の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、社会科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願ひい

たします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、1単位時間ごとに「まなびのポイント」が2つ示されていることで、考える視点が明確になっているところでした。

続いて、教育出版社の特徴について、報告します。各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、教育出版社の教科書で最も特徴的だったのは、第3の観点の視点でした。具体的には、選択教材を5つ設け、児童及び地域の実態に応じた学習を行うことができるようになっているところです。

最後に、日本文教出版の特徴について、報告します。各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点でした。具体的には、QRコンテンツがあり、ワークシートを活用して社会的な見方・考え方を働かせながら、見通しをもって学習が進められるようになっていることと、写真や動画を見て実感を伴った理解を促すようになっているところでした。

以上で、社会の教科用図書の調査報告を終わります。

【矢野副会長】

QRコンテンツについてです。日本文教出版のQRコンテンツが他の教科書に比べて特徴的であるということについて、詳しく教えてください。

【調査員】

日本文教出版で特徴として挙げたのは、量が豊富であるということです。ほぼ全てのペー

ジにあります。他の会社もありますが2番目に多いのが東京書籍です。東京書籍のQRコードは右下に固定されているので、見付けやすいです。教育出版は少し量が少ないです。

【松本委員】

教育出版の第3の観点について、選択教材が多いとありましたが、具体例を教えてください。

【調査員】

もくじを見ていただくと把握しやすいです。例えば、5年の教科書では、選択教材が5つあります。日本文教出版は4つです。東京書籍は2つです。教育出版が一番多く、児童や地域の実態に応じて選択できることが特徴であると把握しています。

【矢野副会長】

東京書籍の第2の観点ですが、「学びのポイント」とは、ドラえものことでしょうか。

【調査員】

ドラえものところではなく、2つの視点で書かれているところです。

【花田会長】

では、続いて地図の報告をお願いします。

【調査員】

続いて、地図の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が、特徴的でした。

さらに、東京書籍で最も特徴的だったのが、第4の観点の視点でした。具体的には、日本全図では、巻頭や巻末、それぞれの掲載ページにおいて、都道府県及び地域別に、有名なもの、日本とそのまわり、地形・気候・産業・交通・都市・歴史・文化・自然災害が項目ごとに示されているところです。

続いて、帝国書院の特徴について報告します。各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が、特徴的でした。

さらに、帝国書院で最も特徴的だったのが、第1の観点の視点でした。具体的には、地図資料を俯瞰できるレイアウトになっているとともに、地図の使い方を問題解決的に掲載し、地図の見方の説明では、土地利用が色分けをして示されているところです。

以上で、地図の教科用図書の調査報告を終わります。

【花田会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【花田会長】

帝国書院の地図帳の使い方について、「問題解決的に記載している」という部分について詳しく教えてください。

【調査員】

7ページから20ページまでを見ました。ここでは、1ページずつ、テーマごとに地図の使い方が示されています。

【榎本委員】

東京書籍は自然災害について書かれていますが、帝国書院にもありますか。

【矢野副会長】

併せて、後半の資料ページの違いについても教えてください。

【調査員】

自然災害については、どちらの地図帳にもあります。

資料ページの違いは、ページによって様々ですが、帝国書院の105、106ページと、東京書籍の73、74ページを比べてください。東京書籍は、項目ごと分けて載せていますが、帝国書院は1つの地図にいろいろな情報を載せています。資料の見せ方に違いがあります。

【松本委員】

帝国書院の地図の色分けについて詳しく教えてください。

【調査員】

15ページをごらんください。帝国書院では、特化して説明しているところがありますが、東京書籍ではそのようなページは見当たりませんでした。

【花田会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。まずは地図から行います。

【花田会長】

帝国書院は小学生にわかりやすく、絵が入っています。

【矢野副会長】

巻末の資料について、東京書籍のように分けて示している方が私はわかりやすかったです。

【榎本委員】

自然災害について、帝国書院は地震ばかりですが、東京書籍は水害もあります。

府中市を見ると、東京書籍の方には家具が載っていますが、帝国書院にはありませんね。これをどう評価しますかね。東広島は、帝国書院が半導体で、東京書籍は日本酒ですね。

【松本委員】

使い方の説明では帝国書院が丁寧ですね。

【榎本委員】

実際、授業ではここまで丁寧に地図帳の使い方を行いますか。

【矢野副会長】

メインは教科書になると思います。

【花田会長】

地図記号を見たら、東京書籍は成り立ちの絵までかいてあります。

【榎本委員】

教科書で学ぶから帝国書院にはかいてないのではないですか。

【松本委員】

災害について、東京書籍は教科書とリンクしています。でも、教科書にない情報も求める場合もますよね。

【花田会長】

教科書にない情報が欲しいですよ。

【河田委員】

東京書籍は竹島の説明をしていますが、帝国書院は位置だけですね。

【松本委員】

歴史のところで言うと、東京書籍の方が多いです。18世紀から始まり、明治まで記載されています。

【矢野副会長】

東京と江戸の比較は帝国書院にありますね。改めて、地図帳は情報量が多いですね。

【花田会長】

では、社会の協議に移ります。ご意見をお願いします。

【榎本委員】

東京書籍の高学年は、上下巻で分かれていますね。

【松本委員】

4年の「水はどこから」で比較しましたが、東京書籍には「学びのポイント」があります。教育出版や日本文教出版にも同じような記載があります。

【花田会長】

日本文教出版は、最初に社会科の学習の進め方としてステップが書いてあります。

【河田委員】

選択教材は多い方がよいのでしょうか。

【花田会長】

児童や地域の実態に応じてということでしたね。

【矢野副会長】

どれを選択するか迷いますね。

【青山委員】

選択が多くても、単元テストで問題が無い場合もあります。テストが全てではありませんが、実際に使用するとなると考慮したくなります。

【松本委員】

先生によっては活用できるかもしれませんね。

【青山委員】

社会科は「調べる」ことが多いです。調べ学習を行いやすいのは教育出版だと思いました。「見方・考え方」や「他教科との関わり」、「学習の進め方」が書いてあり、調べ学習に生かしやすいと思います。

【松本委員】

日本文教出版は、ページの下に「こういう力をつけよう」とあり、身に付けさせたい力が明確で特徴的だと思います。他社にもありますが、表現が違います。

教育出版は1時間ごとの活動の流れが載っていて、本時の活動が具体的に示されています。

【花田会長】

東京書籍と日本文教出版を比べたとき、東京書籍では銀閣は大きく載っていますが、金閣は小さく載っています。日本文教出版は同じ大きさで載っています。日本文教出版の方が違いを比較し、追究するような構成になっています。比較しやすいページ構成になっているのはいいなと感じました。

【榎本委員】

工業生産のところの資料ですが、日本文教出版は円グラフ。東京書籍は柱のグラフです。教育出版も柱のグラフです。東京書籍と日本文教出版は問いかけがあり、考えを促すようになっていますが、教育出版には問いかけがありません。

[算数再協議]

【花田会長】

それでは、これより、選定協議が途中の算数について、協議を再開します。

【花田会長】

第3の観点の中学校との関連ですが、学校図書は別冊で「中学校への架け橋」があります。充実感はあるのではないのでしょうか。

【青山委員】

学校図書4年生の図形の学習ですが、進め方が丁寧だと感じます。大きな単位の学習についても同様です。1ページずつゆっくり進んでいます。振り返りのページとまとめのページも充実しています。1㎡についても、他の教科書では1ページで終わりますが、2ページに渡って掲載されています。

【花田会長】

1年生を見ると、啓林館と大日本図書と東京書籍はスタートブックが付いています。とても勉強しやすいのではないのでしょうか。A3サイズなので書き込みやすいです。ブロックを置いたり、線を書いたりすることを学習してから教科書に入るようになっています。日本文教出版もありますが、サイズが小さいです。

【松本委員】

4年生の面積の学習で「問題解決的な学習を実施するための工夫」の視点を比べましたが、単元末の確かめ問題で学校図書、大日本図書、啓林館、東京書籍の4社は、一般的な問題だけでなく、見方・考え方やこれまでの学びを生かして取り組むようになっています。そうい

った意味では、この4社は優れているように思います。

【青山委員】

学習したことを使ってみようといった内容は3社ありますね。学校図書と日本文教出版などです。

【花田会長】

それでは、協議はここまでにします。まだ評価表をまとめられてない方は続きをおねがいます。

【花田会長】

では、時間となりました。以上をもちまして、第3回選定委員会を終了いたします。ありがとうございました。

それでは、事務局、事務連絡をお願いします。

【事務局】

本日も充実した選定協議を行ってくださり、ありがとうございました。最後に、私から、2点連絡いたします。

1点目は次回の選定委員会についてです。別紙で案内をお配りしておりますが、今回は、7月24日（月）13：30～から、この会場で行います。内容といたしましては、答申に向けたまとめとなります。

2点目は、本日配付した資料についてです。前回同様、資料は封筒にすべて入れていただき、机の上に置いてお帰りください。

本日は、ありがとうございました。

府中市教科用図書採択地区選定委員会

会 長 _____ 印

副 会 長 _____ 印

選定委員 _____ 印

選定委員 _____ 印

選定委員 _____ 印

選定委員 _____ 印

選定委員 _____ 印

選定委員 _____ 印